

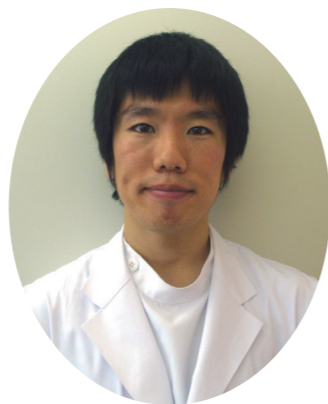


Doctor's Introduction

耳原総合病院医師紹介

産婦人科 吉川 徹

日本産科婦人科学会会員 きっかわ とおる



産婦人科

耳原総合病院産婦人科の吉川徹です。よく「ヨシカワ」と呼ばれますが、「キッカワ」です。歌手の吉川晃司とおなじです。

出身は広島です。大学から大阪に出てきました。ちなみに吉川晃司も広島出身で、僕と高校は一緒です。

趣味はいろいろありますが、屋内では茶道(裏千家・茶名は宗徹)に料理、屋外だと自転車とスキー(クロスカントリー)です。学生時代には、小児科病棟で入院中の子供やお母さんの気分転換のためにお茶会を開いたこともあり。自転車は通勤から、琵琶湖を1周したり日本海まで走ったりと長距離も走っています。先生方も御一緒にいかがでしょうか?

今年は卒業後、5年目になります。2年間は当院の初期研修でいろいろな科を回り、3年目から自分のやりたいと思う科で研修してきました。

泌尿器科、胸部外科に興味をもち、どちらかに進もうと考えておりましたが、昨今ニュースで報道されているように、産婦人科医の不足は、当院も例外ではありませんでした。しかも、このままでは、お産を取れなくなるという状況にまでなっていました。そこで、初期研修の2年間を育ててもらったお礼、また初期研修で産婦人科で研修した際に非常にやりがいのある仕事だと感じましたので、悩むこと2週間、産婦人科医になる決意をして3年目になりました。

産婦人科医として、やっと2年が過ぎます。患者様に、受診してよかったと、先生方に耳原に紹介してよかったと思っただけのように、精進いたしますので、今後ともご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

耳原総合病院 地域医療課

■「診察・入院申込書」「検査申込書」をFAXいただくか、お電話でご予約をお取りいたします。
※折り返しFAXにて予約票をお送り致します。

■予約当日、患者様が受診の際にご持参いただくもの
①保険証、②診療情報提供書、③上記予約票
※上記の3点をご持参いただくよう、患者様にお伝えください。

直通電話 **072-241-0324**
直通FAX **072-241-0208**



vol.115
ぱとあ
(11月号)

2011年11月10日発行

■発行人/奥村伸二 ■発行/社会医療法人 同仁会 耳原総合病院 地域医療課
〒590-8505 大阪府堺市堺区協和町4丁465番地

TEL 072-241-0501 (代表) TEL 072-241-0324 (直通)

URL <http://www.mimihara.or.jp/sogo/>

耳原総合病院の基本方針は「すべての方に24時間365日、質の高い医療を地域と共に提供し続けること」です

ぱとあ 耳原総合病院機関紙 VOL.115 2011.11.NOV

耳原総合病院の理念

耳原総合病院はこんな医療をめざしています

- ♥安全、安心、信頼の医療
- ♥無差別、平等の医療
- ♥患者負担の少ない医療
- ♥地域とともに歩む専門職の育成



耳原総合病院の

無料低額診療事業

当院では創立以来、差額ベッド代を徴収していませんが、2年前から「無料低額診療事業」も行っております。

「無料低額診療事業」とは、社会福祉法第2条3項に規定されている「生計困難者のために無料または低額料金で診療などを行なう」事業です。診療費の減免方法を定めて明示し、ソーシャルワーカーを配置。無料の健康相談を実施するなどの要件が必要となっております。財団法人等には税制上の優遇措置があり、減税分を原資にして事業を行なうことが出来ますが、当院は法人格の違いにより減税措置が受けられません(適応した分は病院の持ち出し)。

ご活用
ください!



医療福祉相談室 責任者SW

庄司 美沙

適用対象

どういった方に適用するか、基準の細則は実施事業所に委ねられています。当院は、収入基準を生活保護基準の1.5倍以内としております。また、免除期間は原則一ヶ月最大3ヶ月。但し、実情に応じて弾力的に運用し、目指すは「生活再生」です。耳原総合病院に元々通院していた方の相談ももちろんですが、開業医様からの紹介の検査や入院の際、「支払いが心配」と相談にお越しになる方もいらっしゃいます。先生方の中には、患者様から「費用が心配」と事前に打ち明けられ、「それでは、相談室に行くように」と併せてご案内くださる場合もあります。

事例1 開業医さんから紹介 60代男性。単身

夜勤警備の仕事で月収約15万(日給月給)。国保。背部痛で近医受診。検査を勧められ当院受診となったが検査費用高額のため相談室来室。この時点で無低適応。就労意欲は強かったが、痛みに耐えかねて断念。診断は転移性肝臓がん。入院が決まった時点で生活保護申請。一ヶ月余りの入院で死亡。

事例2 大阪南部の診療所併設ケアプランセンターからの紹介

ケアマネが関わっている方の夫80代。夫婦の年金は其々6万/2月。元々本人が50年間営んでいた牛乳屋を同居息子が継いでいるが自転車操業でほぼ所得ゼロ。昨年未より食思不振。痩せ著明・顔色不良。幾ら勧めても、医療費負担を気にして受診拒否。無低案内し、当院へ。診察時点で「ほぼ悪性」の診断。検査で胃がん確定。入院後4日で死亡。